感染症患者発生情報 (月報)

埼玉県内情報 6月(2023年)

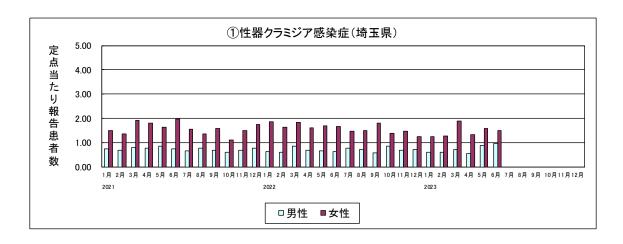
6月の要点

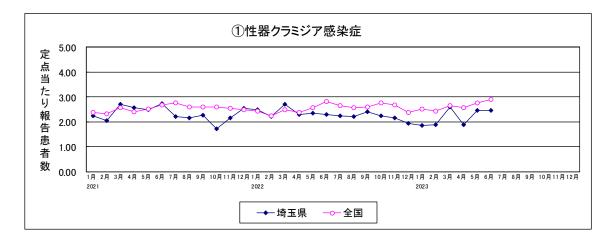
6月に定点当たり報告患者数が増加した疾患は、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症であった。

1. 性感染症 (STD)

① 性器クラミジア感染症

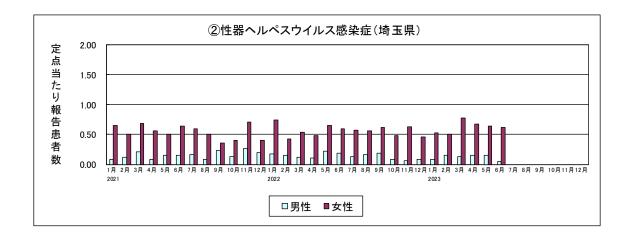
6月の報告患者数は、男性 55人、女性 85人の計 140人であった。男性の報告患者の多い年齢階級は、 $25\sim29$ 歳で 16人、 $35\sim39$ 歳で 9人、 $20\sim24$ 歳及び $30\sim34$ 歳で各 8人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は、 $20\sim24$ 歳で 34人、 $25\sim29$ 歳で 20人であった。定点当たり報告患者数は、5月に比べ 0.01減少した。

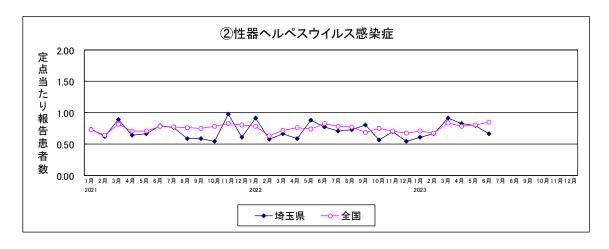




② 性器ヘルペスウイルス感染症

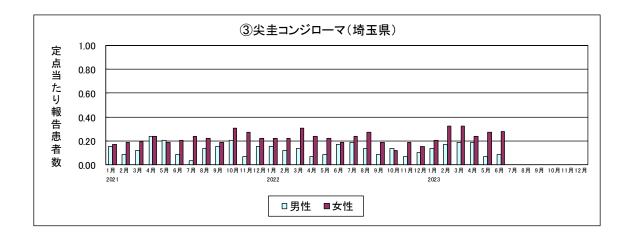
6月の報告患者数は、男性 3 人、女性 35 人の計 38 人であった。男性の報告患者の年齢階級は、 $20\sim24$ 歳、 $30\sim34$ 歳、 $35\sim39$ 歳で各 1 人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は、 $25\sim29$ 歳で 9 人、 $20\sim24$ 歳で 6 人であった。定点当たり報告患者数は、5 月に比べ 0.12 減少した。

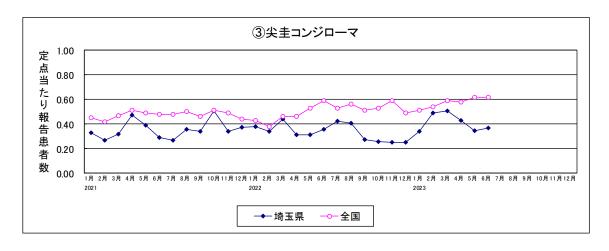




③ 尖圭コンジローマ

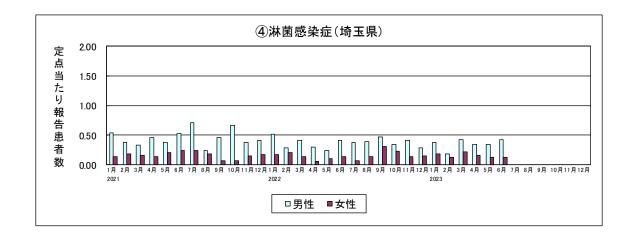
6月の報告患者数は、男性 5 人、女性 16 人の計 21 人であった。男性の報告患者の年齢階級は、 $25\sim29$ 歳、 $30\sim34$ 歳、 $35\sim39$ 歳、 $55\sim59$ 歳及び 70 歳以上で各 1 人であった。女性の報告患者の多い年齢階級は、 $20\sim24$ 歳、 $30\sim34$ 歳及び $35\sim39$ 歳で各 3 人であった。定点当たり報告患者数は、5 月に比べ 0.03 増加した。

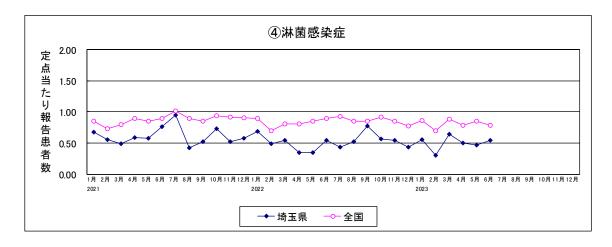




④ 淋菌感染症

6月の報告患者数は、男性 24人、女性 7人の計 31人であった。男性の報告患者の最も多い年齢階級は、 $35\sim39$ 歳で 8人であった。女性の報告患者の年齢階級は、 $20\sim24$ 歳で 3人、 $15\sim19$ 歳、 $35\sim39$ 歳、 $55\sim59$ 歳及び $65\sim69$ 歳で各 1人であった。定点当たり報告患者数は、5月に比べ 0.07 増加した。

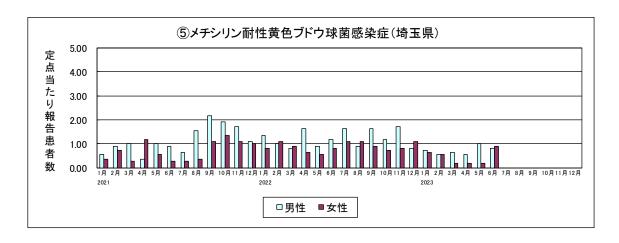


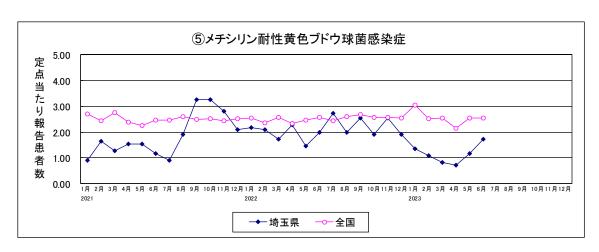


2. その他の感染症

⑤ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

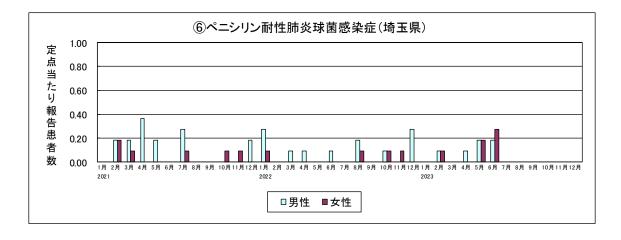
6月の報告患者数は、男性 9人、女性 10人の計 19人であった。男性の報告患者の年齢階級は、70歳以上で 6人、50~54歳で 2人、5~9歳で 1人であった。女性の報告患者の年齢階級は、70歳以上で 7人、1~4歳、30~34歳及び 65~69歳で各 1人であった。定点当たり報告患者数は、5月に比べ 0.55増加した。

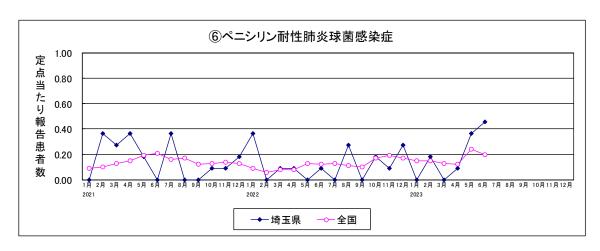




⑥ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

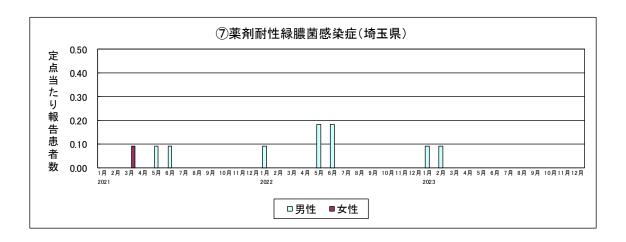
6月の報告患者数は、男性 2 人、女性 3 人の計 5 人であった。男性の報告患者は、 $1\sim4$ 歳及び 70 歳以上で各 1 人であった。女性の報告患者の年齢階級は、 $1\sim4$ 歳で 2 人、70 歳以上で 1 人であった。定点当たり報告患者数は、5 月に比べ 0.09 増加した。

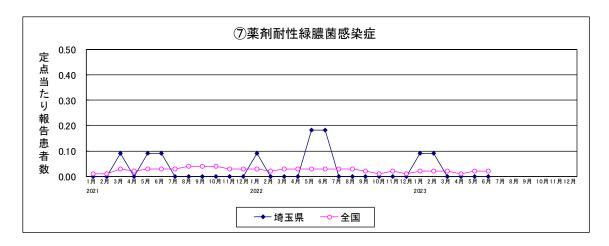




⑦ 薬剤耐性緑膿菌感染症

6月の報告はなかった。定点当たり報告患者数は、5月と同値であった。





2023年6月

感染症発生動向調査 月情報

五類感染症(定点からの報告患者数及び定点当たり患者数)

_	2023年6月	(埼玉県 今月)	2023年5月	(埼玉県 前月)	2022年6月	(埼玉県 昨年)	2023年6月	(全国 今月)
	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
①性器クラミジア感染症	140	2.46	143	2.47	136	2.31	2,871	2.91
②性器ヘルペスウイルス感染症	38	0.67	46	0.79	46	0.78	835	0.85
③尖圭コンジローマ	21	0.37	20	0.34	21	0.36	610	0.62
④淋菌感染症	31	0.54	27	0.47	32	0.54	775	0.79
⑤メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19	1.73	13	1.18	22	2.00	1,213	2.55
⑥ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0.45	4	0.36	1	0.09	95	0.20
⑦薬剤耐性緑膿菌感染症	_	_	_	_	2	0.18	11	0.02

* - : 0.00

性別年齡別報告患者数(埼玉県)

		合計	男女比(%)	0歳	1- 4	5- 9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39 4	0-44	45-49	50-54	55-59 60	-64	65-69	70~
①性器クラミジア感染症	男	55	39.3	_	_	_	_	4	8	16	8	9	2	2	5	1	_	_	
	女	85	60.7	_	_	_	_	7	34	20	11	4	2	6	1	_	_	_	_
②性器ヘルヘ。スウイルス感染症	男	3	7.9	_	_	_	_	_	1	_	1	1	_	_	_	_	_	_	_
voor	女	35	92.1	_	_	_	_	2	6	9	4	4	1	2	3	3	1	1	_
③尖圭コンジローマ	男	5	23.8	_	_	_	_	_	_	1	1	1	_	_	_	1	_	_	1
	女	16	76.2	_	_	_	_	1	3	_	3	3	2	1	_	2	_	_	1
④淋菌感染症	男	24	77.4	_	_	_	_	_	3	4	2	8	2	3	_	2	_	_	_
	女	7	22.6	_	_	_	_	1	3	_	_	1	-	_	_	1	-	1	_
⑤メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	9	47.4	_	_	1	_	_	_	_	_	_	-	_	2	_	_	_	6
	女	10	52.6	_	1	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	1	7
⑥ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	2	40.0	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1
	女	3	60.0	_	2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1
⑦薬剤耐性緑膿菌感染症	男	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	女	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

* - : 0.00

埼玉県の定点からの報告患者数及び定点当たり患者数の推移(月情報)

	2022年						2	2023年					
報告患者数	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①性器クラミジア感染症	136	132	131	139	130	127	115	109	111	153	110	143	140
②性器ヘルヘ。スウイルス感染症	46	42	43	47	33	41	32	36	39	54	48	46	38
③尖圭コンジローマ	21	25	24	16	15	15	15	20	29	30	25	20	21
④淋菌感染症	32	26	31	45	33	32	26	33	18	38	29	27	31
⑤メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	22	30	22	28	21	28	21	15	12	9	8	13	19
⑥ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	_	3	_	2	1	3	-	2	_	1	4	5
⑦薬剤耐性緑膿菌感染症	2	_	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	

	2022年							2023年					-
定点当たり患者数	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①性器クラミジア感染症	2.31	2.24	2.22	2.4	2.24	2.15	1.95	1.85	1.88	2.59	1.9	2.47	2.46
②性器ヘルヘ。スウイルス感染症	0.78	0.71	0.73	0.81	0.57	0.69	0.54	0.61	0.66	0.92	0.83	0.79	0.67
③尖圭コンジローマ	0.36	0.42	0.41	0.28	0.26	0.25	0.25	0.34	0.49	0.51	0.43	0.34	0.37
④淋菌感染症	0.54	0.44	0.53	0.78	0.57	0.54	0.44	0.56	0.31	0.64	0.5	0.47	0.54
⑤メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	2.73	2.00	2.55	1.91	2.55	1.91	1.36	1.09	0.82	0.73	1.18	1.73
⑥ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.09	_	0.27	-	0.18	0.09	0.27	_	0.18	_	0.09	0.36	0.45
⑦薬剤耐性緑膿菌感染症	0.18	_	_	_	_	_	_	0.09	0.09	_	_	_	_

* - : 0.00